

● **社会福祉法人α Version 8.102**

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ ATLASに伴う改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**社会福祉法人d b (VERSION:8.102) の変更点**”を参照してください。

社会福祉法人 d b (VERSION:8.102) の変更点

改良・修正

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

①通常入力

- ・共通処理 d b (VERSION:2.806) の環境共通設定に、[仕訳入力] 日付欄の【月日入力 ⇄ 月固定】を追加しました。

“Tab キー”を選択されている場合

従来通り、Tab キーで月日入力 ⇄ 月固定の切り替えを行います。

※デフォルトは、Tab キーが選択された状態になっています。

“Home キー (Tab キーは次項目へ移動)”を選択されている場合

Home キーで、月日入力 ⇄ 月固定の切り替えを行います。

Tab キーで次項目にカーソルを移動します。

②伝票入力

- ・オプション→伝票入力設定に「重複時、自動で伝票番号を付番する」の機能を追加しました。伝票登録時、入力された伝票番号が登録されていた場合、自動付番を行います。

※通常形式・出納帳形式で入力した仕訳の伝票番号とも重複のチェックを行います。

自動付番を行うときは、そのときに入力していた伝票番号から + 1 したものを登録可能かどうかチェックし、登録可能ならば、その伝票番号を登録します。

登録できない場合は、順次、伝票番号を + 1 して登録可能かをサーチし、9999999 までサーチした時は、1 から空いている番号を探してその伝票番号を登録します。

伝票入力設定

仕訳タイプ初期値の設定

複合仕訳 単一仕訳

プログラム開始時や仕訳登録の後等、新しい振替伝票を入力する時 『複合仕訳』で入力します。

振替伝票で資金繰り枝番入力

行う 行わない

振替伝票で修正時、複合仕訳の表示

詰めて表示 別行として表示

伝票登録時の伝票番号重複チェック

行う

重複時、自動で伝票番号を付番する

行わない

OK キャンセル

(例) 「重複時、自動で伝票番号を付番する」を選択し、伝票番号 1~2200 まで登録している場合。伝票番号 2200 を入力し、F11 伝票登録を押すと、「伝票番号 [2201] で登録しました。」とメッセージを表示し、伝票番号 2201 で登録されます。

仕訳入力

伝票番号 [2201] で登録しました。

OK

II. 決算

1) 附属明細書

①借入金明細書

- ・借入金明細書において「返済期限(元号)」の列を設けました。

元金償還補助金	利率(%)	当期支払利息支出	利息補助金収入	返済期限(元号)	返済期限(年月日)	用途	担	
0	40,000	1.23	50,000	60,000	令和	02.03.31		
0	40,000		50,000	60,000				
0	240,000	2.34	25,000	26,000	平成	31.04.30		
0	240,000		25,000	26,000				

20年1月1日～31年4月30日は「平成」で判定する仕様のため、『令和26年1月1日』などが入りませんでした。今回、年月日と元号を分けることで将来の返済期限を入・出力できるよう対応しました。

新規入力時、元号欄は空白です。元号に「令和」を選択した場合1年5月1日～99年12月31日を、「平成」を選択した場合1年1月8日～31年4月30日を受けつけます。

また、「令和」で1年4月30日以前を入力すると「平成31年」に、「平成」で31年5月1日以後を入力すると「令和1年」に変わります。

なお、元号が空白のまま1年5月1日以後を入力すると「令和」を、1年1月8日～1年4月30日を入力すると「平成」を自動でセットします。

※従前プログラムで入力したデータは、新しいプログラムにおいてもそのまま引き継ぐため、20年1月1日～31年4月30日は「平成」となります。適宜修正してください。

従前

返済期限
令和19.05.31
平成20.04.30
平成25.03.31

改良後

返済期限(元号)	返済期限(年月日)
令和	19.05.31
平成	20.04.30
平成	25.03.31

以上